



太陽学園

令和元年度
学校報 10月号②
大仙市立
大曲中学校

いよいよ後期スタート！備えあれば憂いなし！ 校長先生のお話から地域合同防災訓練

17日に行われた後期始業式で校長先生から全校生徒に向けて三つのことを頑張ってもらいたいとお話がありました。



- ① 人の話は、自分の考えをもちながら、話している人の方を向いて、しっかり聞くことができる生徒になってほしい。これは、授業中はもちろん、普段の生活にもあてはまること。
- ② 大きな声であいさつをする生徒になってほしい。学校内でのあいさつはまずまずですが、地域の皆さんへのあいさつがまだ不十分。自ら進んで地域の皆さんへもあいさつしてほしい。
- ③ できるだけ自転車や徒歩で登校するようにしてほしい。車で送られる場合も、ある程度のところから徒歩で登校してほしい。学区外の生徒でも電車や自転車で登校している生徒もいる。767名が「自分一人ぐらいはいいだろう」と思ってしまうと地域（若竹町）に迷惑をかけてしまうことがある。

以上三つのことを全校生徒がしっかりと心に留め、後期をスタートさせてほしいと思います。



<始業式での生徒発表>

1年：工藤大和 2年：田口和沙 3年：佐々木悠希

10日に市防災課、市水道局、大曲消防署、若竹町内会のご協力を得て、地域合同防災訓練をおこないました。

この訓練は、東日本大震災を教訓に始められたもので、関係機関や若竹町内会の皆様と連携して行う訓練は、学年ごとに異なるプログラムが組み立てられており、3年間でさまざまな体験学習ができるようになっています。

全校で地震&火災を想定した避難訓練を実施した後、1年生は高所救助訓練見学、煙道避難、初期消火体験を行いました。2年生は市防災課の成田防災管理監の講演と地震体験、3年生は避難誘導&避難所開設訓練と1次救命処置体験を行いました。

今回の台風19号の被害をみれば、まさに「備えあれば憂いなし」です。



栄光の記録(10/5 ~ 10/18)

- ・令和元年度大仙市平和標語コンクール 中学生の部 最優秀賞 三浦 彬
- ・税についての作文 中学生の部 大仙仙北地区租税教育推進協議会長賞 田中里奈
- ・第 65 回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査
 - 1 年課題図書：二席 武藤百々 三席 小山紗和
 - 2 年課題図書：一席 高野優奈 三席 長澤由衣、齊藤美桜
 - 3 年課題図書：一席 佐々木悠希 (全県) 二席 魚住和花子 (全県) 三席 佐藤紅葉、戸嶋心聖 (全県)
 - 1 年自由図書：一席 小林ちい (全県) 三席 高橋華秀、佐々木莉子
 - 2 年自由図書：一席 深田隼 (全県) 三席 鎌田悠愛、藤田萌那、佐々木逢和
 - 3 年自由図書：一席 高橋華子 (全県) 二席 伊藤理沙子 (全県)、鈴木姫那 (全県)
 - 三席 平 空、大友健太郎、加藤美有

小中連携あいさつ運動

9日の登校時に、2・3年生の生徒会役員と有志数名が出身小学校に出向き、6年生と一緒にあいさつ運動を行いました。これは、「大仙教育メソッド」の実践の一つとして行われているものです。中学生の元気な「おはようございます」の声が小学校の校門に響き渡りました。また、小学生からも「おはようございます」の明るいあいさつをしていただきうれしく思いました。



四ッ屋まつりに吹奏楽部が参加

13日に行われた「四ッ屋まつり」に吹奏楽部が出演し、ステージ発表をしました。今回の四ッ屋まつりは10周年記念で、吹奏楽部にぜひ出演していただきたいと依頼があり、実現しました。

ステージでは、「YMCA」ならぬ「YMTA」(四ッ屋まつり Tenth Anniversary)を披露しました。また、四ッ屋小学校器楽部とコラボで秋田県民歌等を演奏し、地域の皆さんから大きな拍手をいただきました。



お悔やみ

本校職員の五十嵐佳子先生が10月17日にご逝去されました。五十嵐先生は大曲中に4年間勤務され、英語を皆さんに教えてくださいました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。